

●北秋調剤薬局

- 所在地 北秋田市下杉字上清水沢16-291
- 設置者 株式会社ファーマックス
- 設計者 ピーレックス株式会社



天井の高い吹き抜け



渡薬カウンター



全面フラットな待合室



受付番号を表示するディスプレイ

講
評

店内は、天井の高い吹き抜けと窓から入る光で明るく開放感があり、利用者が快適に過ごせるよう設計されていました。また、全面がフラットでタイルカーペットを使用し転倒を防止するなど利用者の移動に配慮されていました。さらに、大きな文字の受付番号表示や車いす使用者向けの渡薬カウンターを設置するなど、利用者の視点での整備が評価できました。

◆秋田県バリアフリー推進賞の概要◆

①施設部門（施設の設置者を表彰）

誰もが利用しやすいように配慮された生活関連施設で、条例の整備基準に適合している施設。既存の施設については、改善に積極的に取り組んでいる施設。

②製品開発部門（製品の開発者を表彰）

高齢者や障害者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための独創的な作品など。製品、試作品、改良品などの別は問わないが、知的所有権を侵害しないものに限る。

●大仙市立大曲中学校生活科学部

- 校長 石井義広
- 部員 42名
- 所在地 大仙市若竹町7-17

主な活動内容

「身近なバリアフリー」をテーマに学校・駅・ショートステイを調査し、調査で学んだバリアフリーについて学校祭等で生徒や来校者に発信しています。また、調査を通して、物理的に建物などを整備するハード面でのバリアフリーでは行き届いていないところを、思いやりや配慮といったソフト面でのバリアフリーで補うことの大切さを学び、心のバリアフリーを学校生活に取り入れるため、朝のあいさつ運動や来校者用のスリッパ磨き等に取り組んでいます。



バリアフリー推進賞受賞施設への訪問

※ショートステイあんり(第8回バリアフリー推進賞受賞)



校内での車いす体験



大曲駅でのバリアフリー調査



学校ボランティアの様子(スリッパ磨き)

講
評

生徒が自らの意思で調査を行い、調査の中で良いと感じた部分を、その後の学校生活に取り入れる姿勢が評価できました。また、生徒がさまざまな利用者の視点に立ち調査を行う中でハード面でのバリアフリーだけではなくソフト面でのバリアフリーの重要性に気付いた、という点が印象に残りました。

③活動部門（一般部門、ジュニア部門（高校生以下））

バリアフリーに関する啓発活動、高齢者や障害者等の社会参加の支援活動など現在も継続しているもの。ただし、一般部門については2年以上の活動実績が必要。

④バリアフリーマップ部門（一般部門、ジュニア部門（高校生以下））

地域におけるバリアフリーマップの作成の取組が対象。ただし、作成したマップを配布、ホームページに掲載するなど、積極的に利活用を行っている場合に限る。